

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 やまなみ会

グループホーム 草原の風

## 目次

1	はじめに	・・・・・・・・ 1
2	利用者状況・年齢状況	・・・・・・・・ 1
3	支援内容	・・・・・・・・ 2.3
4	ホーム内外におけるトラブル・苦情対応	・・・ 3
5	防災関連	・・・・・・・・ 3
6	行事・イベント	・・・・・・・・ 3

## 1 はじめに

本年度は、新型コロナ感染の陽性者が発生したが緊急マニュアルに沿って迅速に対応ができ最小限度の感染者でクラスターまでの拡大とはならなかった。また、緊急時に家族と連絡が取れず対応が難しい事案があり、改めて家族状況の確認や連絡先の再確認を行い、現時点で3名の方にキーパーソンがいない状態が判明、今後は成年後見制度を取り入れるなど見直しが必要。

さらに、昨年度と同様体調管理やコロナ禍の感染対策等を再度徹底し、利用者が自分らしく生活できるよう、支援を行った。

今後も利用者がよりよい生活ができるように支援を行い、生活しやすい環境となるようにしていきたいと思う。

## 2 利用者状況（令和5年3月末現在）

定員30名に対し今年度（3月末）は、25名（男20、女5）でした。現在の利用状況は、以下の通りとなりました。

	令和3年度	令和4年度
平均利用者数（名）	24.42	23.77
新規利用者数（名）	1	0
退所利用者数（名）	1	0

### 利用者年齢別状況

年齢	知的		身体		精神		計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～30	1						1	0
31～40	2	2					2	2
41～50	4		(1)				4	0
51～60	2		1 (1)				3	0
61以上	5	3	5 (5)	(2)	(1)		10	3
計							20	5

※（ ）重複数

## 3 支援内容

利用者のニーズの把握、個別計画に沿った支援、モニタリング、個人面談等行いながらサービス提供を行った。

### (1) 金銭管理

利用者については家族が管理される数名を除いて、金銭管理を行った。特に問題となるようなことはなかった。

〈主な実施内容〉

- ・利用者に収入と支出との兼ね合い等を説明し、通帳残高と個々の状況に合わせ支出を行った。

(2) 買い物・外出

利用者に外出等自粛期間とそうでない期間をその都度伝え、感染状況によって判断を行いながら支援を行った。また買い物以外の外出については最小限（受診、冠婚葬祭、散髪等）利用者においては特に問題となるようなことはなかった。

〈主な実施内容〉

- ・月/1回の買い物支援については、インターワーク、ウィルアークスの協力を得ながら行った。
- ・昨年度と同様に、感染状況を見ながら買い物する地域を決めて行った。
- ・外泊は感染状況を見ながら、少ない日数ではあったが年末年始に帰省する事ができた。

〈次年度への提起〉

- ・自粛期間や外出可能地域等随時利用者に提示いく。
- ・状況を見ながら遊びや観光等できる外出を考えていく。

(3) 健康、食の管理

健康面では、1名が胆管結石で夜間緊急入院となり対応した他、新型コロナ感染陽性者や濃厚接触者に対しても、病院受診や居室待機の対応を行った。

〈主な実施内容〉

- ・毎日の体温測定等の体調管理、消毒等の感染対策を行った。
- ・体調が少しでもすぐれない人や微熱のある人等に対しては、自室での食事提供や病院受診回復までの支援を行った。
- ・利用者の高齢化や持病の悪化等がすすんだため医療機関等との連携を行い、緊急時の対応に努めた。また定期受診や健康診断も積極的に行った。
- ・食の面では、バランスの取れた献立、量の管理を行った、また間食などの取り方など病気につながらないよう助言支援等行った。

〈次年度への提起〉

- ・引き続き体調管理や感染症対策を徹底していく。

(4) 日常生活

洗濯、入浴、居室清掃等について支援を行い、特に問題となるようなことはなかった。

〈主な実施内容〉

- ・定期的に洗濯、入浴、清掃等について声かけを行った。
- ・必要に応じて一緒に洗濯や清掃を行った。
- ・衣類調整についても声かけを行い、また汚れや破れ等があり、買い替えや処分等の支援を行った。

〈次年度への提起〉

- ・定期的な居室の確認を実施していく。
- ・日常生活について声かけや確認等を継続して行っていく。

4 ホーム内外におけるトラブル・苦情対応

ホーム内では、ルール等を設けてあるが、なかなか守れず利用者同士のトラブル施設外での問題行為による苦情等が発生したが、日中活動事業所との連携により問題解決、苦情対応に努めた。問題行動の多い利用者に対しての見守り、助言を強化し新しいルール等の取り入れなど行いトラブルの再発防止に努め利用者の認識を再確認し問題解決に繋げた。今後もこのような状況に対応できるよう、職員の育成にも役立てていきたい。

5 防災関連

緊急時に備えて防災マニュアルや避難通路の再確認、消火設備の点検及び交換や避難訓練等を今まで以上に行い、災害時の職員間の連携も深めていく。また、夜間の火元の確認や緊急時の対応と警備を徹底する為、宿直者を2名交互に配置している。

6 行事・イベント

コロナ禍のため行事・イベントは日中と共同で、バーベキューを開催した。その他としては、買い物外出や住民健診のみ実施した。